

第39回少年の主張全国大会

～わたしの主張2017～

「あなたの心に届けたい 未来に向けたメッセージ」



○ 開催期日:平成29年11月12日(日)

○ 会 場:国立オリンピック記念青少年総合センター

協 力:都道府県、青少年育成都道府県民会議、全日本中学校長会、日本私立中学高等学校連
合会、公益社団法人日本PTA全国協議会

後 援:内閣府、文部科学省、東京都教育委員会、日本放送協会、一般社団法人日本民間放送連
盟、一般社団法人日本新聞協会、社会福祉法人全国社会福祉協議会

事業概要

- 趣 旨：中学生が日常生活を送る中での感謝や思い、また信条や考え、あるいは衝撃的なできごとや感銘を受けた経験などを中学生自身の言葉でまとめ、それを広く同じ中学生達へ発表する機会を提供すると同時に、この大会を開催することにより、多くの大人に中学生への理解や関心を深めてもらうことをねらいとする。
- 応募総数：542,236人 ○ 応募校数：4,188校
- 全国大会発表者数：12名 ○ 来場者数：449名
- 皇室御臨席：眞子内親王殿下
- 来 賓：内閣府大臣官房審議官 和田 昭夫氏、文部科学省生涯学習政策局長 常盤 豊氏
- 審査委員：松本零士委員長、内海房子委員、梶川裕登委員、北風幸一委員、土肥克己委員、西川龍一委員、疋田啓二委員、平下文康委員、笛木啓介委員、古沢由紀子委員、宮崎緑委員（11名）
- 四賞受賞者：内閣総理大臣賞 新潟県代表 平澤 幸芽「仲間を守る一言」
文部科学大臣賞 島根県代表 井手上 漠「カラフル」
機構理事長賞 群馬県代表 森田 愛美「私は、私の足で生きていく。」
審査委員会委員長賞 愛知県代表 荒島 彩乃「たった一言が言えなくて」
審査委員会委員長賞 鹿児島県代表 松元 一真「本当の平和へ」

主張発表



責任を持って自分の意見を表明することが、仲間を救う一言になると主張した、新潟県代表の平澤 幸芽さん。
(内閣総理大臣賞受賞)



誰もが自分を自由に表現できる世界を作っていきたいと発表した、島根県代表の井手上 漠さん。
(文部科学大臣賞受賞)



個性とは様々な葛藤からたどり着いた先にあるものと語った、群馬県代表の森田 愛美さん。
(国立青少年教育振興機構理事長賞受賞)



ありふれた日常の中にある身近な人の思いに対し、感謝の気持ちを伝えていきたいと語った、愛知県代表の荒島 彩乃さん。(審査委員会委員長賞受賞)



真の平和のため、私たちは争わずに幸せを求め続けなければいけないと主張した、鹿児島県代表の松元 一真さん。
(審査委員会委員長賞受賞)

表彰式



表彰式では、全国大会発表者全員に奨励賞賞状及び記念品、
四賞を受賞した方には、各賞の賞状及び記念の盾が贈られました。



内閣府の和田大臣官房審議官より、
内閣総理大臣賞の賞状授与及びお祝
いのお言葉をいただきました。



文部科学省の常盤生涯学習政策局長
より、文部科学大臣賞の賞状授与及
びお祝いのお言葉をいただきました。
た。



漫画家の松本零士審査委員長より、
審査委員会委員長賞の賞状授与及び
講評をいただきました。

努力賞授与式

全国大会へ推薦された47都道府県の代表者の内、惜しくも全国大会発表者に選考されなかった35名（以下、努力賞受賞者）へ、全国大会の中で努力賞の賞状が授与されました。また、全国大会当日は努力賞受賞者の作文をホール前に掲示し、ご来場いただいた多くの皆様に観覧いただきました。



【努力賞授与式】



【努力賞受賞者】

努力賞受賞者のプログラム

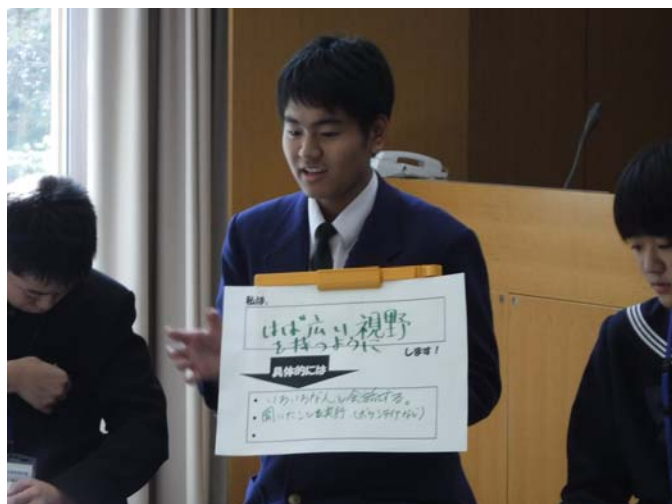
本大会より、努力賞受賞者が互いの考えや思いを語り、新たな視点や考え方を身に付けていただくことをねらいとして、全国大会前日から国立オリンピック記念青少年総合センターへ宿泊し、交流プログラムを実施しました。

1日目はレクリエーションを行った後、事前に用意していたグループメンバーの発表作文に対する自分自身の考えや質問等をグループ内で共有し、意見交換を行いました。

2日目は、グループでの意見交換を踏まえ、各自の作文に記載されている個人目標や目指すべき社会を実現するため、今日から取り組む具体的な行動目標を考え、メンバーの前で宣言しました。努力賞を受賞された皆さんの、各地域、学校での活躍を期待しています。



【意見交換の様子】



【全体への宣言】

【問い合わせ先】

国立青少年教育振興機構 教育事業部 事業課 事業係
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

TEL : 03-6407-7683 FAX : 03-6407-7699 E-mail : honbu-jigyokakari@niye.go.jp